

会 議 名	第2回 港区放課GO→クラブおなりもん運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成30年10月29日(月) 午後6時～7時
開 催 場 所	港区役所 2階 芝地区総合支所会議室
委 員	(出席者) 阿部委員長、新井副委員長、田中委員、石井委員、和田委員、佐藤委員 (欠席者) なし
事 務 局	芝地区総合支所管理課
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第一次審査について 議題2 第一次審査通過者の決定について 3 今後のスケジュールについて 4 その他 5 閉会
配 付 資 料	【席上配布】 資料1 第一次審査集計表(一覧) 資料2 第一次審査表(各委員) 資料3 第1回港区放課GO→クラブおなりもん運営事業候補者選考委員会会議録 参考資料1 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)方法について 参考資料2 第二次審査表
会議の結果、主要な発言及び確認事項	
<p>1 開会</p> <p>事務局：(本日の流れを説明) (事業者Aの失格について、入札参加資格を有していなかった旨を説明)</p> <p>2 議題審議要旨</p> <p>議題1 第一次審査について</p> <p>A委員：それでは審議に入らせていただきます。まず事務局採点部分についての説明をお願いいたします。</p> <p>事務局：(「第一次審査の集計結果」について説明)</p> <p>A委員：事業者からの提案について特徴的なポイントなど順番に講評をお願いします。特に評価が分かれている点などについても触れていただきたいと思います。</p>	

B委員：私は3点を中間点として評価しています。事業者Bに関しては、個人情報の取り扱いについて等、全体的に具体性を欠くような印象があります。事業者Cに関しては、ほとんど中間点もしくは高評価です。事業者Dに関しては、職員の年間研修計画等、部分的に内容が薄い感じがありました。

C委員：私は概ね1番が事業者C、2番が事業者D、3番が事業者Bという形になっています。

事業者Bは、児童の安全確保については評価する一方、衛生管理については内容が薄く、少し評価を低くしました。

事業者Cは、災害、アレルギー、障害児対応等がしっかりと明記されており、外国籍が比較的多い港区の地域性も把握できていると感じました。

事業者Dは、育成を踏まえての事業展開をしっかりと明記しており、事業計画の中で地域との連携を意識している部分を一番評価しました。

D委員：私は各事業者を比べながら、同じ内容であれば同点という基準で評価しました。

事業者Bは、保育園・保育室の運営実績が多いですが、学童クラブについては規模が小さく、実績としても少ないので低い評価としています。事業内容についても虐待早期発見等の記載がなく、内容が十分とは言えませんでした。

事業者Cは、学童クラブの実績が港区内含め、多数あります。また、危機管理についても小学校との連携を考えた記載となっております。あと定期的なマニュアルの見直しも行っていると明記されていて、見直しによる職員の危機管理意識の向上が期待できると感じました。

事業者Dは、全体的にバランスが良いという印象を受けました。内容の整合性もあり、育成をしっかりと考えている姿勢が読み取れました。また、学校との連携をとっていこうという姿勢が伺えてよかったです。職員の資質向上についての取り組み内容も明確でした。平均的だったということで点数的にはCよりも低くはなっていますが、Dも割と安定的な事業者かと思います。

E委員：事業者Bは、施設長候補者の学童クラブ経験が浅く、全体的にもう少し具体策が欲しかったという印象です。事業者Cは、おやつ提供について、事故が発生する前提の記載がされており、各学年を意識した事業や保護者参加型の事業が高評価です。事業者Dも、学年を意識した事業展開が記載され、地域の他施設との連携を意識した事業計画が具体的に示されていて良いと思います。

事業者B、C、Dに共通して、安全対策の部分で、事業者側の視点はありましたが、活動中の子どもに向けての視点がなかったので、そこについては第二次審査で確認したいと思います。

F委員：得点の高い順番から言いますと、事業者C、事業者D、事業者Bの順でした。

事業者Cは全体を見ると書類の作り方が一番良かったと思いました。他施設での同種・類似事業の運営実績は十分です。事業者Dについては、運営実績を含

め、事業者Cとの差はあまり感じませんでした。職員の欠員等への対応もしっかりしています。しかし、内容が少し簡略されていた印象です。事業者Bは、内容の分かりやすさはあるものの、記載自体の具体性はあまりないと感じました。また、同種・類似事業の運営実績、退室時の見守りが不十分です。

A委員：私も事業者Cと事業者Dはあまり差がないです。事業者Bに関しては、小規模の学童クラブを運営している実績は多少ありますが、施設長候補者の学童関係の経験も少なく、不安に思いました。帰宅時の安全確保や職員確保が不足しているとも感じました。事業者Cについては、提案内容から子どもとの関係が非常に近い印象がありました。また、類似施設が多いので、欠員の問題も上手くいくだろうと思います。事業者Dも、類似事業の実績が多いです。施設長候補者も類似施設での責任者経験があり、その経験が活かされるのではないかと期待しています。学童は、全体的に各子どもに応じた工夫や港区らしい取り組みがまだまだこれからなので、まずは安定性、安全ということが非常に大事と思い、点数に反映しました。

A委員：皆さんからご講評いただきましたが、他に付け加えるべき意見はありますか。なければ、第一次審査を確定したいと思います。皆さんのご意見等を踏まえまして、採点を変更されたい方はいらっしゃいますか。改めての変更はないということなので、それでは事務局から点数を発表してください。

事務局：(点数発表)

議題2 第一次審査通過者の決定について

A委員：次に議題2、第一次審査通過者について審議します。点数からしますと、事業者Cと事業者Dを第一次審査通過者とすることでよろしいでしょうか。事業者Bについては、基準点である6割をクリアできていないので、今回は不通過です。

全員：了承

A委員：では、第一次審査通過者を事業者C、事業者Dに決定いたしました。

3 今後のスケジュールについて

事務局：(今後のスケジュールについて説明)

A委員：今の説明を受け、何かご意見があればお願いいたします。

C委員：委員6名に対して、ヒアリングが15分だと短いような気がします。

A委員：では20分程度でいかがでしょう。

全員：(了承)

A委員：ヒアリング時間の修正をお願いします。その他、ご意見ございますでしょうか。

4 その他

(特になし)

5 閉会

A委員：これで第2回港区放課GO→クラブおなりもん運営事業候補者選考委員会を終了させていただきます。

全員：ありがとうございました。